

利賀っ子だより



R3. 12. 20

○ 清掃強調週間から

長かった2学期もあと今週を残すのみとなりました。先週は、2学期末の清掃強調週間でした。通常より5分早く掃除を始め、いつもの活動に加えて毎日決められた重点箇所をきれいにするという期間です。

「高い所の掃除」「壁の汚れ落とし」「黒板周りの掃除」など日替わりですることは決まっていますが、具体的な掃除の方法は子供たちに任せられています。

右上は、「高い所の掃除」の日の様子です。

EさんとAさんは、2人でどちらが雑巾が汚れるかを比べながら棧を拭いていました。そうすれば、楽しみながらきれいになっていくだけでなく、どんなところに汚れが多いのかも分かり、今後の掃除に役立てることができそうです。

中は、「床の汚れ落とし」の日の様子です。Iさんは、床にはいつくばるようにして汚れを探してはこすり取ることを黙々と行っていました。「お客さんが一番よく通るから」と正面玄関前から始めていました。最終日には、下の写真のように中まできれいに洗ったゴミ箱が並べて干してありました。

させられているからする大掃除ではなく、自分で必要だと思うから行う大掃除という感じを受けました。掃除の時間にも「他と関わりながら、自分で考え、判断し、行動する」という今年度の目指している子供の姿を見ることができました。



○ 雪の日の朝



先週末からの雪で、今朝は30センチぐらいの積雪がありました。そんな中、子供たちは、「(路側帯の)線が見えない!!」「横断歩道はここら辺やったっけ?」など、足元に気を配りながら、リーダーを先頭に登校していました。

登校後は、早速と除雪をしている姿がありました。山村留学生もすっかり利賀の生活に慣れてきたようです。昼休みに雪遊びをすることを約束している子供もいました。

(高田 公美)